

## (8) ボウリング競技

1 期 日 平成29年7月15日(土)・16日(日)

種 別	7月14日(金)	7月15日(土)	7月16日(日)
成年男子	公式練習	個人戦(前半・後半) 団体戦2人チーム (前半)	団体戦2人チーム (後半) 団体戦4人チーム
成年女子		個人戦(前半・後半) 団体戦2人チーム (前半)	団体戦2人チーム (後半) 団体戦4人チーム
少年男子		個人戦(前半・後半) 団体戦(前半)	団体戦(後半)
少年女子		個人戦(前半・後半) 団体戦(前半)	団体戦(後半)

2 会 場 諫早市

(1) 競技会場 諫早パークレーン(諫早市天満町9-26)

(2) 練習会場 同 上

3 種別及び参加人数

種 別	種 目	監 督	選 手	参加県数	小 計	計	本大会 代表数		
成年男子	個 人 戦	1	4	8	40	128	5		
	団 体 戦								
成年女子	個 人 戦	1	4	8	40		128	4	
	団 体 戦								
少年男子	個 人 戦	1	2	8	24			128	4
	団 体 戦								
少年女子	個 人 戦	1	2	8	24	128	4		
	団 体 戦								

※ 成年男子・成年女子チーム構成(4名)及び少年男子・少年女子チーム構成(2名)

4 競技上の規程及び方法

(1) 競技上の規程

ア 競技規程は、公益財団法人全日本ボウリング協会のボウリング競技規則及びボウリング選手権競技会規程による。

イ 審判員は、公益財団法人全日本ボウリング協会公認審判員が当たる。

(2) 競技種目

- ・成年男子……個人戦・団体戦2人チーム・団体戦4人チーム
- ・成年女子……個人戦・団体戦2人チーム・団体戦4人チーム
- ・少年男子……個人戦・団体戦2人チーム
- ・少年女子……個人戦・団体戦2人チーム

### (3) 競技方法

- ア 団体戦 2人チーム（成年男子・成年女子・少年男子・少年女子）  
各選手が前半 3 ゲーム、後半 3 ゲームの計 6 ゲームの競技を行い、チーム（2 名）の合計得点により順位を決定する。
- イ 団体戦 4人チーム（成年男子・成年女子）  
各選手が 3 ゲームの競技を行い、チーム（4 名）の合計得点により順位を決定する。
- ウ 個人戦（成年男子・成年女子・少年男子・少年女子）  
各選手が前半 3 ゲーム、後半 3 ゲームの計 6 ゲームの競技を行い、合計得点により順位を決定する。
- エ 各種目に次のポイントを与え、各種目の合計ポイントにより、成年男子・成年女子・少年男子・少年女子の各種別に、ブロック割当数に応じ国体本大会の出場資格を与える。
- オ 同ポイントの場合は、対象種別の総得点の多い方を上位とする。

#### ① 団体戦

1 位 . . . 2 4 点	2 位 . . . 2 1 点	3 位 . . . 1 8 点	4 位 . . . 1 5 点
5 位 . . . 1 2 点	6 位 . . . 9 点	7 位 . . . 6 点	8 位 . . . 3 点

#### ② 個人戦

1 位 . . . 8 点	2 位 . . . 7 点	3 位 . . . 6 点	4 位 . . . 5 点
5 位 . . . 4 点	6 位 . . . 3 点	7 位 . . . 2 点	8 位 . . . 1 点

## 5 参加資格

- (1) 第 7 2 回国民体育大会実施要項総則 5 に定めるものとする。  
なお、少年種別に参加できる選手は、平成 1 4 年 4 月 2 日から平成 1 5 年 4 月 1 日までの間に生まれた中学 3 年生を含むものとする。
- (2) 監督は、公益財団法人日本体育協会公認スポーツ指導者制度に基づく、公認ボウリングコーチ・公認ボウリング上級コーチ又は公認ボウリング指導員・公認ボウリング上級指導員の資格を有する者とする。
- (3) 原則として、ブロック大会に登録（予備登録を含む）出場した者でなければ、本大会への参加は認められない。  
但し、予選免除選手についてはこの限りではない。

## 6 表彰

各種目の第 1 位から第 3 位までに、賞状を授与する。

## 7 参加申込方法

- (1) 所定の Web ページ（国民体育大会参加申込受付窓口）へアクセスし、必要項目を入力の上、当該県体育協会を通じて、平成 2 9 年 6 月 2 3 日（金）までに申込手続きを完了すること。
- (2) 参加申込締切り後の選手変更は、疾病、傷害等特別な場合に限り認め、大会総則 1 0（3）の手続きにより届け出ることとし、締切りは監督会議前までとする。

## 8 参加上の注意

- (1) ユニフォームは各連盟制定のもので、JBC の登録承認されたものを着用のこと。

- (2) 参加選手は、会場に持ち込んだすべてのボールを競技開始前に登録しなければならない。
- ア 大会使用ボールの登録は、2個目から規程のボール登録料を納めるものとする。
  - イ 使用ボールは、WTBA又はJBCの公式認定ボールを、JBC公認ドリラーによってドリルされ、JBC公認ボール検査員が検査し合格したものとする。
  - ウ 競技中に、参加全選手の中から無作為に検査を実施する。  
登録されていないボールや検査したボールが規格に外れたり、規程に反していた場合、それまでの記録はすべて無効とする。
  - エ ボール検査合格証の不携帯及び未検査ボールを使用する場合は、競技開始前に大会認証部の検査を受けること。  
検査料は1個につき500円、硬度のみは1個につき200円とし、大会期間中のみ有効のボール検査合格証を発行する。
- (3) 開始式には各県とも、監督のほか選手全員参加のこと。
- (4) 監督は連盟旗を持参し、監督会議に必ず出席すること。

## 9 その他

### (1) 監督会議

- ・ 日 時 平成29年7月14日(金) 15:30~16:15
- ・ 会 場 諫早観光ホテル 会議室

### (2) 開始式

- ・ 日 時 平成29年7月14日(金) 17:00~17:45
- ・ 会 場 諫早パークレーン